

2015 年度 第二回日内連講演会

IMO 環境規制の動向と対応技術 “

—環境規制はどこまで進むのか？ 大気、水質、乗組員居住性—

時：2015 年 9 月 30 日（水）

所：神戸国際会館 9 階大会場

講演プログラム

時 間	講 演 題 目	講演者
09:25~09:30	開会の辞	
09:30~10:30	1) IMO における審議の状況	日本舶用品検定協会 (吉田公一)
10:30~11:30	2) 船級協会の取り組み	日本海事協会 (河本 賢一郎, 原 啓樹)
----- 昼 食 -----		
12:30~13:20	3) 船用 SCR 装置の現状	日立造船 (藤林孝博)
13:20~14:10	4) 船用 EGR 装置の現状	三菱重工船用機械エンジン (平岡直大)
14:10~15:00	5) LNG 燃料供給インフラの整備状況	日本郵船 (溝端麻織)
----- 休 憩 -----		
15:10~16:00	6) 幅広い硫黄分の燃料に対応可能なシリンダ油の実績	JX 日鉱日石 (有本直純)
16:00~16:50	7) 環境対応の切り札 “水素燃料” の可能性	九州大学 (高崎講二, 北原辰巳)
16:50~16:55	閉会の辞	

プログラムは都合により予告無く変更されることがあります

「お知らせ」

次回日内連講演会は、2015 年 12 月 1 日(火) 神戸国際会館 にて、
“CIMAC の活動状況とヘルシンキ大会” のテーマで開催する予定です。
なお、講演会テキスト (CD-R) に加え、参考テキストとして、前回上海大会の全論文の概要を編集した、
“日内連技報第 6 号” も配布いたします。
詳細につきましては、追っての日内連ホームページ、下記アドレス、に掲載します。
<http://www.jicef.org>